



令和6年2月29日(木) No.13

江戸川区立第六葛西小学校
校長 中山和義

東京都江戸川区西葛西4-5-1 TEL 03-3688-0485 FAX03-3688-0510

ホームページ <http://edogawa.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1310095>



ろくっこの「芽」を大切に育てよう！

校長 中山 和義

1月中旬から2月初旬にかけて、インフルエンザによる感染拡大により学級閉鎖が続いてきたところですが、そんな状況でも、梅や水仙、河津桜をはじめ春の草花が咲き始めてきました。季節は確実に巡り、春に向かっていきます。自然の営みは素晴らしいですね。

しかし、子どもの健やかな成長は「自然の営みに任せて」というわけにはいきません。私たち大人の意図的・継続的な働きかけがとても大切です。子どもは誰もが伸びる「芽」をもっています。しかし、それは、私たち大人が伸ばそうとしてもそう簡単に伸びるものではありません。対応を誤ればせっかくの「芽」を摘んでしまうことにもなりかねません。「伸びよう」、「伸びたい」という子ども自身の意思がなければ、その「芽」は眠ったままです。その「芽」は子どもがその気になったことで芽生え、やる気を湧き立たせ、夢中になって取り組むことで、たくましく、かつしなやかに、そして大きく伸びていくのだと思います。そこで大切なのが、子どもたちを温かく見守り続け、ときに優しく手を差し伸べ、ときにそっと背中を押し、機に応じて熱く諭す大人の存在なのだと思います。それはまるで、植物に降り注ぐ暖かな春の日差しのように。

先日行われた5年生のウインタースクールは、児童自らの意思で「伸びよう」、「伸びたい」という姿を沢山感じる事ができた行事の1つです。家庭を離れ、初めて友達と2泊3日を過ごすにあたり、楽しい思い出を作ろうとみんなやる気満々です。しかし、初めのうちは生活班や係活動が思うように進みません。自分のことを優先し、集団でやるべきことが後回しになってしまうからです。教員や生活指導員からのアドバイスを素直に受け取り、それを活動に活かしていくことで、みんなが過ごしやすく楽しい活動になっていきました。みんなが気持ちよく過ごすためには、みんなのことを優先して行動すること、それが結果的に自分のためになっていることに気付くことができました。「伸びよう」、「伸びたい」が具現化される様子に、次期最高学年として立派に役割を果たしてくれる存在になり得ると確信がもてました。

また、6年生とは、卒業前に「校長との昼食会」を実施しており、これも自ら「伸びよう」、「伸びたい」という姿勢を感じることができる行事の1つとなっています。校長室で一緒に給食を食べながら、「小学校で思い出に残っていること」や、「中学校に進学してから自分が頑張りたいこと」等について会話しています。学習発表会、ウインタースクール、日光移動教室、サマーキャンプ等、印象に残っている思い出話で盛り上がり、小学校生活のフィナーレをひしひしと感じているようでした。そして中学校で頑張りたいことについて話す場面では、不安や心配を抱きつつも、「学習、生徒会、部活動…等で頑張りたい！」と、友達の前で宣言する姿に自ら「伸びよう」、「伸びたい」という姿勢を強く感じることができました。

ろくっこの「芽」を大切に育てていくことができるように、これからも私たち教職員一同、子どもたちを温かく見守り続け、ときに優しく手を差し伸べ、ときにそっと背中を押し、機に応じて熱く諭すことができる存在となってまいります。保護者・地域の皆様もご協力の程よろしくお願いたします。

さて、この一年、保護者の皆様には様々な場面で学校の教育活動を支えていただき、誠にありがとうございました。皆様の支えにより、子どもたちは一歩一歩着実に学習や行事など様々な教育活動に取り組むことができました。また、地域の皆様にはいつも変わらず子どもたちを温かく見守り、そして、学校を支援していただき、心より感謝申し上げます。皆様に支えられ、子どもたちは安心して学校や地域で過ごし、伸び伸びと育っていると感じます。引き続き、子ども達のために全力で教育活動を進めていきます。私たち教職員にも、第六葛西小学校にも、まだまだ「伸びる芽」があると思っております。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、これからも引き続き、春の日差しのように温かい、本校教育活動への御理解・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

ウィンタースクール

in ゆのたに荘

5年 黒川 洋



スキー教室

5年生は、2月4日（日）から2月6日（火）まで2泊3日で新潟県の魚沼市下折立にある『ゆのたに荘』へウィンタースクールに行ってきました。

雪の影響による通行止めで、帰校時間が予定よりも大幅に遅れてしまいましたが、雪の多い地域の様子を肌で感じながらすべての行程を無事に終えることができました。スキー場でのスキー体験では、初めてスキーをする子供も多く、苦戦していました。しかし、インストラクターの話をよく聞き、練習を続けるうちに転ばずに滑れるようになっていきました。どの子もあきらめずに一生懸命頑張っていました。

この3日間は、「最高学年に向けて、学年みんなで最高の思い出を作る」をめあてに、自分のことを自分でやること、自分のことより全体のことを優先すること、困っている人に手を差し伸べることを意識して生活しました。共同で生活をする中で、協力することの大切さや思いやり、責任をもって自分の役割を果たすことなど多くのことを学ぶことができました。そして、このウィンタースクールを支えてくれる多くの方に感謝の気持ちを言葉と態度で伝えることもできました。ウィンタースクールでの学びをこれからの学校生活に生かしていくことで、最高学年に向けてまた一歩成長していけるのだと思います。これからの5年生の活躍に期待しています。



雪遊び



米袋づくり体験

3月行事予定

1	金	安全指導・安全点検
2	土	
3	日	
4	月	委員会・クラブ(反省)
5	火	避難訓練
6	水	きこえ通級終わりの会
7	木	スケート教室(4年) ぶっくままサポート(2-3,4-2)
8	金	4時間授業(1~5年) 出発の会(6年)
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	図書返却日
13	水	
14	木	ぶっくままサポート(2-4,4-3)
15	金	卒業式予行 親子リサイクル
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	5時間授業 区内中学校卒業式
20	水	春分の日
21	木	4時間授業(5年以外) 登校班登校終 大掃除 給食終 卒業式前日準備
22	金	卒業式 一斉退勤日
23	土	
24	日	
25	月	B時程午前授業 修了式
26	火	春季休業日始
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

